

室蘭岳 裏沢 報告

実施日 2024(令和6)年6月29日(土)

場 所 室蘭岳裏沢 中央の左沢及び中央の直登沢

参加者 M(CL)、女性3人と男性7人の総10名

行 程 7:10 駐車場発→8:30 室蘭岳山頂→10:10 チョックストーン→10:30 Co650m 三俣→11:10 お椀の滝→17:00 室蘭岳山頂→19:00 駐車場

前 段

過去、裏沢でトラブルを体験したM氏、裏沢に行きたくてたまらない。念願かなってやっといけることになったが。どうもM氏は、四の沢も行ってみたいということで、計画書は活に満ち溢れていました

山頂～中股沢中央の三俣



中股沢左股を下る。笹藪の背は低く濃くはない。下降中に落石発生。藪を抜けてからは、右岸側の草付(頑丈ではない)を下る。

チョックストーン手前50m 付近で懸垂下降を実施。

雪の創作なのか、雨による浸食なのか『自然の芸術 チョックストーン』に到着。みな、降りるのに夢中で、チョックストーンを鑑賞する人は少なかった。

チョックストーン通過後は、沢を下り、中股沢三俣に到着。



中股沢中俣～お椀の滝

F1 の登りを開始しようとしたところ、転倒者発生(10:50)。F1 基部でテーピング等の応急手当実施、歩行は、杖を突きながら可能。

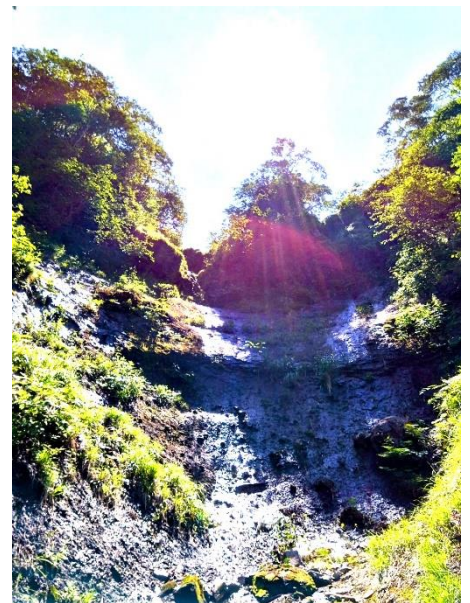
お椀の滝とは、いい名称である。まさしく、お椀を半分にしたような地形が観える。地質の硬・軟によりできたものと思われる、自然の造形もの。

お椀の滝～ゴーロ (Co480m)

けが人がいるので、ノーマルなルートを選び、ゴーロ (Co480m) まで下り、北尾根を目指すこととした。

ゴーロ～北屋根

M氏の執念で【ゴーロの標識】の欠片を発見し、位置が確認できた。そこから沢を登ったが、鹿も通らぬ道で急斜面・落石あり・藪が濃い、でも4×20mであった。



反省(転倒者発生)

急斜面の下降に精神・体力を使い、『これからが急所だ』や『登りまーす⇄登ってこい』などの声掛けが出来なかった。

休憩をとり、息を整え、皆の状況を観察すべきであった。

希 望(会としての今後に向け)

鹿も通らない急斜面を越したのに、ロープ30mと40mを担いだ方。

痛みに耐え、心に鞭打ちながら文句を言わずに歩き通した方。

お椀の滝の中間支点の既設補助ロープをより安全に処理した方。

アクシデントがあっても、個人行動に走らず、団体行動がとれた方々。

転倒者の応急処置(テーピング、急冷)に対応した方ありがとうございました。

